

企業 HP

AIRWINGS 合同会社 【デジタルイノベーション創出推進補助金】



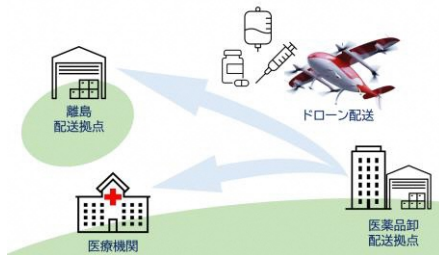
<医薬品供給の効率化とレジリエンスを強化～全天候型固定翼ドローンを活用した医薬品配送の検証～>



本事業は、ドローンを活用した次世代の医薬品配送モデルを構築し、地域における医薬品供給の効率化とレジリエンス強化を目指す取り組みである。高齢化の進行や物流人材不足により、地域物流の維持が課題となる中、迅速かつ柔軟に医薬品を届ける新たな物流手段としてドローンの活用が期待されている。また、地震や豪雨などの災害時には物流網が寸断される可能性があり、医薬品を安定的に供給するための代替物流手段を確保することが重要である。

本事業では、強風や雨天などの厳しい環境下でも飛行可能な全天候型の物流用固定翼ドローンを用い、従来の小型マルチコプタードローンでは難しかった長距離かつ安定したドローン配送の実現可能性を検証した。

事業イメージ



①医療機関へのラストワンマイル配送

新潟市内の医療機関に対し、小ロット・短時間対応の医薬品供給体制の実現性を検証した。

②医薬品卸売企業の本土と離島の拠点間における在庫移送

医薬品卸売企業における拠点間の在庫移送を効率化し、医薬品供給の機動性・即応性を向上させるとともに、災害時を想定した代替物流手段の検証を行った。

これらの実証を通じて、地域医療を支える持続可能で強靱な医薬品物流ネットワークの構築と、環境負荷の少ない配送モデルの確立を目指していく。

共同提案者：株式会社マルタケ

企業 HP

株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス 【デジタルイノベーション創出推進補助金】

<AI カメラによる地域交通の利用実態把握など、路線バス DX によるコスト削減、利便性向上で地域交通維持を目指す>



事業イメージ



本事業は、バス利用者の乗車・降車を AI カメラで撮影することで、バスの正確な利用実態の把握に努めようとするもので、最終的には乗客がストレスなくバスに乗車できるような体験を提供し、バス利用の促進を図ることを狙っている。バスの位置情報と併せて乗降時に撮影した情報をクラウドに送信し、クラウドで運賃計算を実施することで、将来的には現行の高額な車載機を活用する必要がなくなり、現金等の煩雑なオペレーションから乗客も運転士も開放されると考える。

なお本実証における顔認証は、広く一般に普及しているようなカメラ前に立ち止まって確認を行うものではなく、いつもどおりの乗車・降車の行動から捉えようとするもので、バス運行の定時性の確保を前提としたサービスであることから、解決すべき課題は多岐にわたり、引き続き関係者の協力を仰ぎながらサービス開発に取り組んでいく考えである。

こうした利便性の向上およびコスト削減が、地域交通の活性化や路線の維持につながることを目指している。

企業 HP

キヤノンイメージングシステムズ株式会社 【デジタルイノベーション創出推進補助金】

<モバイル端末による目視検査自動化アプリ>



Canon

キヤノンイメージングシステムズ

事業イメージ



工場の目視検査には精度のばらつきや人材不足などの課題がある。
しかし、一般的な自動検査機器は高価であり、安易な導入が困難な状況となっている。
そこで、スマホ・タブレットを使った安価な自動検査装置(スマホアプリ)を開発した。
本装置により以下が期待できる

- ・ 検査精度の向上
- ・ 人件費・不良品対応コストの削減
- ・ 作業負担の軽減

三菱電機株式会社 ビジネスイノベーション本部 【デジタルイノベーション創出推進補助金】

企業 HP



＜電柱点検実績アプリ「ピクトレ」を活用し、新潟市が管理するカーブミラーを対象に、
市民が参加して点検データを収集する仕組みの実用性実証評価＞



事業イメージ



地方自治体が直面するインフラ老朽化と維持管理コスト増大の課題に対し、市民参加型ゲーミフィケーションプラットフォームによる解決策を提案する。本事業は、市民がスマートフォンアプリを通じてインフラ設備を撮影・報告する仕組みにより、従来の職員による巡回点検業務を効率化し、大幅な費用削減を実現する。

2025年1月に新潟市中央区で実施した実証実験では、26名の市民参加者が10日間でにいがた2kmエリア内に設置されているカーブミラー149本の設置状態(自立/共架、ミラー数など)を100%確認し、今後の点検業務のDX化に必要な情報をリスト化することができた。

また、収集した写真で錆、変形、ミラー曇りなど劣化状態の確認が可能であり、また、職員による目視点検の代替機能として十分な品質を確認した。

この結果は当初の目標の90%を大幅に上回る成果を達成。撮影された約9,000枚の写真から、設備の状態確認が可能であることを実証し、職員による目視点検の代替機能として十分な品質を確認した。

市民協働による効率化効果として、従来の職員巡回業務の工数削減、車両使用頻度の低減、データ入力作業の自動化等により、一定の業務効率化が期待される。

具体的な効果額については、今後の実証実験を踏まえ関係部署と協議の上、適切な算定方法を検討していきたい。

Web3.0技術とDePIN(分散型物理インフラネットワーク)の活用により、持続可能な地域互助経済圏の構築を実現する。

株式会社リプロネクスト 【XRコンテンツ実装事業補助金】

企業 HP

<仮想空間で広がる新しい出会い

— キャリアイベントの新しいカタチ「METaverse CAREER EXPO IN NIIGATA 2025」>



本事業は、自社が運営する仮想空間プラットフォーム「Roomiq（ルーミック）」を活用し、新潟県内企業15社が参加するメタバース合同企業説明会「METaverse CAREER EXPO IN NIIGATA 2025」を実施するものである。若年層の県外流出や採用競争の激化を背景に、時間や場所にとらわれない新たな出会いの場を創出することを目的としている。

事業イメージ



仮想空間内に企業ブースを設け、参加者はアバターで自由に回遊しながら、社内風景や企業紹介動画の閲覧、担当者との対話が可能である。顔出し不要でスマートフォンやPCから参加できる仕組みとし、学生や転職希望者、U・Iターン検討者が気軽に情報収集できる環境を整備する。

また、一定期間空間を公開し、開催日以外でも企業情報に触れられるようにすることで、地域企業の魅力発信と多様な人材との接点拡大を図る取り組みである。

■リリース詳細はこちら

<https://lipronext.com/news/release/announcement-niigata-xr-2025/> →



企業 HP



株式会社 STYLY 【XR コンテンツ実装事業補助金】

<Niigata Urban XR Lab : にいがた 2km における XR 観光コンテンツ実装と回遊体験の創出>



事業イメージ



本事業「Niigata Urban XR Lab」は、新潟市中心市街地「にいがた 2km」（新潟駅～万代～古町）を対象に、XR 技術を活用した観光・回遊型コンテンツの制作と現地実装を行い、地域資源の再発見と都市観光への活用可能性を検証した取り組みである。

XR 配信プラットフォーム「STYLY」の World Canvas 機能を活用し、物理的な施工や景観改変を伴うことなく都市空間に XR 体験を重ねる形で実装を行った。対象エリアでは、新潟駅前の XR インフォメーション、萬代橋周辺で俳句をモチーフとした詩的 XR 体験、古町では十日町友禅を題材とした XR 演出の計 3 作品を制作し、来訪者が現地でのみ体験できる回遊型コンテンツとして公開した。

また、制作プロセスの一環として XR コンテンツクリエイションワークショップを実施し、地域の学生や社会人の視点や試作をコンテンツ制作に反映した。

これらの取り組みにより、XR を都市空間に実装する具体的なモデルを提示するとともに、XR 体験を都市観光の新たなレイヤーとして継続的に活用していく可能性を示した。